

# Fashion

人事のファッション機能学

ファッションには、自己確認や強化の機能、他者に情報を伝える機能などがある。この機能を利用して、人事が直面する課題に活路を見出すことができないか。パーソナルスタイリストの政近準子氏が語る。

## クールビズの原則は 清潔感と「きちんと感」

2005年に環境省が地球温暖化などへの対策として提唱した夏の軽装・クールビズ。ビジネスの場ではタブーとされていた「ノーネクタイ・上着なし」も当たり前の職場が増えました。ただ、いくらクールビズが定着したとはいえ、カジュアルすぎる服装はビジネスの場にそぐいません。服装選びや着こなしの基本を知っておきましょう。

クールビズの原則は、清潔感と「きちんと感」。自分が涼しいだけでなく、周囲にだらしなさや不快感を感じさせないことが大事です。はじめにシャツについてお話ししましょう。本来、シャツはスーツを汚さないための下着として着るもの。クールビズで上着を脱ぐとカジュアル度がかなり高くなるので、着こなしに配慮が必要です。ポイントはまず、サイズの合ったシワのないシャツを着ること。長袖が正式で、暑ければまくっても構いませんが、きれいにまくる自信がなければ、半袖のほうがすっきり見えます。

ADVISER



政近準子氏

ファッションレスキュー  
代表取締役社長  
パーソナルスタイリスト

Masachika Junko\_アパレルのデザイナーを経て、2001年個人向けスタイリングを行う「ファッションレスキュー」を創業。顧客は政治家、経営者など1万人を超える。



女性がジャケットなしでスカーフをするなら、ひと結びや固結びなどすっきりした結び方できちんとした印象に。

男性のポケットチーフはシンプルな折り方がビジネス向き。素材は、麻や綿を選ぶと華やかになりすぎない。

クールビズは装いがシンプルになるぶん、小物が目立つ。時計のベルトの汚れなど細かいところにも配慮したい。

ヨーロッパではシャツの下に下着を着ません。高温多湿の日本では、汗を吸い取るために下着は着るべきですが、シャツの上から見えないようにしたいもの。男性の場合、シャツの第一ボタンを開けても見えない深めのVネックで、袖なしのものがすっきり見えます。色は白のほか、最近はベージュもあり、透けにくくておすすめです。

商談や大事な会議のときは、やはりスーツを着用したいものです。スーツの色は、ライトグレーなど明るめにしたほうが涼しげに見えます。生地はサマーウールが通気性がよく、品揃えも豊富です。各メーカーから機能性を追求したものが出ているから、試着をして研究してみてください。

スーツを着るなら、本来はネクタイもすべきです。クールビズを意識してネクタイを外す場合は、ポケットチーフをつけると品よく見えます。

スーツの上着を脱ぐことがある場合は、シャツをボタンダウンのものにして全体をカジュアルにまとめる……などバランスを考えて違和感のないようにしましょう。また、上着を脱ぐと、小物にも目が行きやすくなります。全体の印象がカジュアルならベルトはそれに合わせてメッシュタイプにするなど、夏は小物への配慮が必要です。

女性のクールビズのポイントは、露出度を抑え、職場のドレスコードに合わせて服装を考えること。シャツは胸元を少し開けたほうが通気性がよく涼しげですが、下着に見えない上質な素材のタンクトップをシャツの下に着るなど肌の露出を控えましょう。スカーフをシンプルに巻くのも、華やかで締まった雰囲気が出ておすすめです。

クールビズで軽装になっても、身だしなみのマナーは忘れず、軽快に夏を過ごしましょう。